

2018-19年度のための

地区研修・協議会概要報告

地区研修・協議会実行委員長 藤井眞澄

(大阪南RC)



2018-19年度のための地区研修・協議会が、4月7日(土)13時30分から大阪国際会議場で開催されました。参加者は、クラブ関係717名、地区関係139名(役員75名、地区委員会64名)、それにホストクラブである大阪南RCから57名で、総数913名でした。

今回は新たな試みとして、本会議の場所を、例年の国際会議場のメインホールから10階の会議室とし、さらに部門別協議会の部門数を例年の10部門から7部門とするなど、運営の見直しを図りました。参加者の皆さんにはご不便をおかけしたことと思いますが、寛容の精神でお許し願います。

第一部の本会議の前半では、山本博史GEより「次年度RI会長テーマ及び地区方針」について説明されました。冒頭に今年1月サンディエゴで開催された国際協議会でバリー・ラシン次年度RI会長が発表されたテーマ「インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION」の映像の紹介があり、その後ロータリーの目的、4つのテスト、RIの戦略計画とも関連付けて、「インスピレーションになろう」の意味するところを解説されました。インスパイアには、鼓舞する、元気づけるなどの意味があり、ポリオ撲滅、米山奨学などロータリーの行っている様々な奉仕活動が人々をインスパイアし世界を変えていると話され、次年度のガバナーのテーマは設定せずに、この「インスピレーションになろう」の考えをもとに地区として10項目の活動を展開する方針を示されました。

本会議の後半では、2650地区 2016-17年度ガバナーの刀根荘兵衛氏を講師にお招きし、「ロータリーの変化と未来像」のテーマで講演していただきました。この中で、ロータリーで起きている変化と根底にある考え方、クラブの柔軟運用ルールなどについて話され、これからは各クラブが将来ビジョンを作り柔軟運用ルールも活用して「未来価値・魅力」を高めてゆくことが大切であることを強調されました。そして、ロータリーの目的、奉仕理念などの不易部分とクラブの形態、活動の内容や方向などの流行部分について話され、最後に知的障害になられた子に関する話を紹介されました。講師の造詣の深い、感動的なお話を聞き一同認識を新たにするとともに大変感銘を受けました。

この後、12月7、8日に行われる地区大会の案内がホストクラブである大阪南RC小谷実行委員長からあり、大阪南RC会員が白い法被を着て勢ぞろいし参加をアピールしました。

第二部部門別協議会では、7部門に分かれての詳細な研修が行われ、午後5時過ぎに終了しました。

最後になりましたが、片山G、山本GEをはじめ、ご参加下さいましたPGの皆様、全てのロータリアンの皆様のご協力に心から感謝申し上げます報告とさせていただきます。

